



国土交通省道路局長 殿



小都整第483号
平成19年4月26日

小松島市長 稲田 米晴



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について(回答)

平素より貴職におかれましては、小松島市の行政全般につきまして、ご高配を賜っておりますことに感謝申し上げます。

さて、平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のありました標記の件につきましては、下記のとおりですのでよろしくお願い申し上げます。

記

1. 四国横断自動車道 鳴門～阿南間の早期完成（四国8の字ネットワークの整備）

我が国は、戦後の国土復興の時代から高度成長期をへて、様々な社会資本を整備し国土を発展させ、地域の利便性・安全性などを多大な恩恵を与えてきました。

これらの社会資本の中でも、高速道路はモータリゼーションの発展に必要な不可欠なものとなっております。

さらには、高い確率で発生が予想されている東南海・南海地震などの災害時におけるライフラインとして、地域住民の安全・安心な生活の確保のため、最も優先させなければならない行政課題であります。

しかしながら、本県は地理的・地形的要因により、住民の生活や社会経済の大部分を道路に依存しているにもかかわらず、未だ高速道路が開通していない地域があり、社会資本整備の遅れにより、その地域の地場産業や魅力を有効に活用できない状況にあります。

このようなことから、高速道路の整備は地域の活力を引き出す基盤であるとともに、住民が安全で安心できる生活を確保するためにも、早急に整備が図られるよう望みます。

2. 都市計画道路「月ノ輪金磯線」「江田小松島港線」の整備

高規格幹線道路の整備を図ると共に、海上交通の拠点的な港湾機能とのアク

セス道路を整備することにより、海と陸の物流ネットワークを形成し国際物流に対応したネットワークを強化することが求められています。

本市においても、四国横断自動車道の整備に併せて、小松島インターチェンジ（仮称）から重要港湾である徳島小松島港と中心市街地へのアクセス道路として、都市計画道路の整備がぜひとも必要であると考えております。

3. 国道55号の渋滞解消

本市が抱える道路交通の問題として、県南と県都徳島市を結ぶ唯一の幹線道路である国道55号の慢性的な交通渋滞があります。

とくに徳島市への入口であります勝浦川橋付近においては、日常的な交通渋滞が発生しており、四国横断自動車道が完成した後においても国道55号が徳島市中心部への最短ルートであることに変わりなく、さらに徳島南環状線への進入路でもあるため、その渋滞状況に拍車がかかる恐れがあります。

このため、徳島・小松島間における国道55号の片側3車線化等の渋滞対策が、ぜひとも必要であると考えております。

4. 四国横断自動車道におけるインターチェンジの新設

現在、高速道路の効率的な活用・機能強化が必要とされております。

本市では、立江・櫛淵地区を含む地域と、これに続く勝浦地区の活性化を図り高速道路の利便性を向上を図るため、四国横断自動車道の通過する立江・櫛淵町付近に、新たなインターチェンジを設けることを望みます。

5. 安全・安心の確保（防災・減災等）

東南海・南海地震等の自然災害に対処するため、震災、防災対策を積極的に推進するとともに、安全・安心で快適な生活環境づくりを推進するため、道路整備を一層推進することが必要であると考えております。

6. 歩行空間のバリアフリー化

快適な生活環境の構築と、活力ある市街地の形成を図るため、歩行空間のバリアフリー化の推進、電柱等を撤去・抑制するための取り組みが必要であります。

本市の中心市街地活性化基本計画の具体メニューに上げられている「都市計画道路 芝生日ノ峰線」における電線埋設化を整備し、ひとにやさしいまちづくりを進めることが必要であると考えております。

7. 管理橋梁等の道路施設の長寿命化

厳しい財政状況の中、高齢化した橋梁等の道路施設の長寿命化及び修繕・架け替え等の、効率的な管理の実施が不可欠であると考えております。